

3-3 地域産業の振興

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度			
1	頑張る商店街支援事業	経済局 産業支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成19年度 【概要】 商店街等が、独自のアイデアや創意工夫を生かし、商店街の活性化を図るために実施する事業に助成する。 補助率:1/2以内、補助限度額:総合支援型は1年度につき500万円(3~5年度間の商店街活性化のための計画を提出し、認定審査会にて認定を受ける必要がある)、個別支援型は1年度につき60万円(ただし1回あたり30万円) 【対象者】商店街等 【具体的な活動内容】 平成21年度:12団体17事業、平成22年度:14団体18事業、平成23年度:18団体21事業 補助金額16,624千円	市単	[概算コスト] 15,493 (内訳) ・決算額 11,512 ・人件費 3,981 (0.50人)	[概算コスト] 17,706 (内訳) ・決算額 13,691 ・人件費 4,015 (0.50人)	[概算コスト] 22,567 (内訳) ・決算額 16,625 ・人件費 5,942 (0.75人)	[概算コスト] 25,833 (内訳) ・決算額 19,946 ・人件費 5,887 (0.75人)	補助申請団体数(目標値は前年度の数) (単位:件) 10 12 14 18	[目標値] 10 120.0%	[目標値] 12 116.7%	[目標値] 14 128.6%	[目標値] 18	商店街活性化につながった。 [実績値] [実績値] [実績値] 120.0% 116.7% 128.6%	A	A	継続 (理由) 商店街が地域の実状を踏まえ、特色を生かして実施する事業を支援することは、商店街の活性化を図るために必要である。		
2	にぎわい商店街づくり支援事業	経済局 産業支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成19年度 【概要】 来街者の商店街に対する意識調査や経営者に対する実態調査などの商店街診断を実施し、診断結果を踏まえて、商店街づくり研究会(商店街会員を中心にコーディネーター、市職員が参加)を組織し、商店街として取り組むべき点や個店としての対応などについて計画を策定する。 【対象者】 商店街 【具体的な活動内容】 21年度:1団体(宇宿商店街振興組合)、22年度:1団体(鹿児島中央駅西口通り会)	市単	[概算コスト] 3,273 (内訳) ・決算額 1,282 ・人件費 1,991 (0.25人)	[概算コスト] 5,030 (内訳) ・決算額 3,022 ・人件費 2,008 (0.25人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0	申請団体数(目標値は前年度の事業実施団体数) (単位:件) 0 1 1 0	[目標値] 1 100.0%	[目標値] 1 100.0%	[目標値] 1 0.0%	[目標値] 0	商店街組織の強化や活性化につながった。 [実績値] [実績値] [実績値] 100.0% 100.0% 0.0%	A	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照		
3	中小企業振興条例に基づく助成事業	経済局 産業支援課	助成・育成	○事業開始年度 昭和48年度 【概要】 ・組織化助成:中小企業者が法人である事業協同組合等を組織した場合、1法人あたり10万円の範囲内で助成する。 ・共同施設設置助成:市内の商店街振興組合や事業協同組合が公衆の利便に寄与する共同施設(アーケード・街路灯等)を設置した場合、または構成員の事業共同化のための共同施設を設置した場合、中小企業振興条例に基づき、100分の50の範囲内で助成する。限度額は1億円。 【対象者】 ・組織化助成:中小企業者の団体、共同施設設置事業:商店街等 【具体的な活動内容】 ・組織化助成:21年度0団体、22年度0団体、23年度0団体 ・共同施設設置事業補助実績:21年度1団体、22年度4団体、23年度2団体	国・県補助	[概算コスト] 6,157 (内訳) ・決算額 2,176 ・人件費 3,981 (0.50人)	[概算コスト] 22,545 (内訳) ・決算額 18,530 ・人件費 4,015 (0.50人)	[概算コスト] 31,941 (内訳) ・決算額 27,979 ・人件費 3,962 (0.50人)	[概算コスト] 1,962 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 1,962 (0.25人)	事業実施の申請団体数 (単位:件) 1 1 4 2	[目標値] 1 100.0%	[目標値] 4 100.0%	[目標値] 2 100.0%	[目標値] 2	商店街の環境整備を推進することにより、中小企業者の自助努力を助長できた。 [実績値] [実績値] [実績値] 100.0% 100.0% 100.0%	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照		
4	商店街歩行者通行量調査	経済局 産業支援課	調査・研究	○事業開始年度 昭和49年度 【概要】 商店街を通行する中学生以上の歩行者及び自転車等を、進行方向別に計測するとともに歩行者の特徴・男女の比率を調査する。 【対象者】 中学生以上の歩行者及び自転車等 【具体的な活動内容】 隔年での調査実施となる。 H22:153地点での調査 H24:153地点での調査を予定	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 10,630 (内訳) ・決算額 6,615 ・人件費 4,015 (0.50人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 8,982 (内訳) ・決算額 7,020 ・人件費 1,962 (0.25人)	調査地点数 (単位:地点) 153 153	[目標値] 153 100.0%	[目標値] 153 100.0%	[目標値] 153 100.0%	[目標値] 153	調査結果の活用促進 [実績値] [実績値] [実績値] 100.0%	A	A	継続 (理由) 商店街の現状分析や商店街づくりの基礎資料として活用するため必要な事業であるが、ホームページのアクセス数など、効果の把握できる指標を設定するよう検討すべきである。		
5	明るい商店街づくり支援事業	経済局 産業支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成10年度 【概要】 市の共同施設設置事業の助成を受けて街路灯等を設置した商店街や、商店街ファンタスティックイルミネーション助成事業による助成を受けてイルミネーションを設置した商店街が維持する街路灯等にかかる電気料の一部を助成する。 【対象者】 上記商店街 【具体的な活動内容】 21年度:73団体、22年度:72団体、23年度:72団体に助成	市単	[概算コスト] 13,003 (内訳) ・決算額 11,012 ・人件費 1,991 (0.25人)	[概算コスト] 12,250 (内訳) ・決算額 10,242 ・人件費 2,008 (0.25人)	[概算コスト] 11,780 (内訳) ・決算額 9,799 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 13,233 (内訳) ・決算額 11,271 ・人件費 1,962 (0.25人)	申請商店街数 (単位:件) 73 73 72 72	[目標値] 73 100.0%	[目標値] 72 100.0%	[目標値] 72 100.0%	[目標値] 72	商店街の夜の魅力の創出や消費者が安心して買い物ができる環境づくりに寄与してきた。 [実績値] [実績値] [実績値] 100.0% 100.0% 100.0%	A	A	継続 (理由) 街路灯等にかかる電気料の一部を助成することは、消費者が安心して買い物ができる環境づくりに寄与するため、必要である。		
6	地域密着店連携支援モデル事業	経済局 産業支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成23年度 【概要】 近隣で商業・サービス業を営む中小店舗等の連携を促し、各店舗の強みを生かして、地域の消費者への生活提案等を一体的に行う取組を支援することにより、商店街の強化・形成等につなげる。 補助対象経費:広告宣伝費、印刷製本費、会場借上料、会場設営費など 補助率:1/2、補助限度額:1年度につき20万円 【対象者】近隣の商業又はサービス業を営む事業者3名以上で構成するグループ 【具体的な活動内容】(補助活用実績)23年度:4グループ	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 2,166 (内訳) ・決算額 185 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 3,962 (内訳) ・決算額 2,000 ・人件費 1,962 (0.25人)	補助申請団体数 (単位:件) 10 4 10 4	[目標値] 10 40.0%	[目標値] 10 40.0%	[目標値] 10 40.0%	[目標値] 10	商店街の強化・再生や商業集積の形成・基盤強化が図られ、商業・サービス業の活性化につながった。 [実績値] [実績値] [実績値] 40.0%	A	A	継続 (理由) 近隣で商業・サービス業を営む事業者が連携して店舗をPRする取組を支援することは、商店街の強化・再生等を図り、商業・サービス業の活性化に寄与するため、必要である。		

3-3 地域産業の振興

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由			
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度				23年度	24年度	
7	ソーシャルビジネス促進事業	経済局 産業創出課	助成・育成	○事業開始年度 平成23年度 【概要】 地域・社会の様々な課題をビジネスの手法を用いて解決するソーシャルビジネスに対する市民や企業等の理解と関心を深め、認知度の向上を図るほか、担い手や事業者を育成・支援し、ソーシャルビジネスの成長を促進する。 【対象者】 市民、ソーシャルビジネス事業者 【具体的な活動内容】 ・セミナーの開催(4回) ・アドバイザーの派遣(10件程度) ・マッチング交流会の開催(1回)	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 4,847 (内訳) ・決算額 ・人件費 1,109 (0.14人)	[概算コスト] 2,248 (内訳) ・予算額 1,620 628 (0.08人)	セミナー、 ビジネス マッチング 交流会開催 回数 (単位:回)	[目標値] 5 (単位:人) <達成率>	[目標値] 13 <達成率>	[目標値] 13 <達成率>	[目標値] 5 <達成率>	交流会の 延べ参加 者数 (単位:人) <達成率>	[目標値] 340 <達成率>	[目標値] 220 <達成率>	A	A	継続 (理由) ソーシャルビジネスの普及促進は、 環境問題などの社会的課題の解決 を図り、本市経済の活性化に寄与す るため、必要な事業である。			
8	中小企業異業種交流支援事業	経済局 産業創出課	助成・育成	○事業開始年度 平成22年度 【概要】 中小企業者が異分野の企業と相互に交流することを支援し、交流を通じ、 企業の融合化・ニュービジネスの創造の促進を図ることを目的とする異業種 交流支援事業実行委員会に対し、負担金を支出する。 【対象者】 農林水産事業者、商工業事業者 【具体的な活動内容】 ・実行委員会で決められたテーマに沿って、異業種交流グループによる研究 会を立ち上げ、事業化モデルの構築へ向け2年間支援する。 ・異業種交流支援事業実行委員会(本市と県中小企業団体中央会等で組 織)にて研究会の取り組みを支援	市単	[概算コスト] 1,337 (内訳) ・決算額 700 ・人件費 637 (0.08人)	[概算コスト] 1,442 (内訳) ・決算額 800 ・人件費 642 (0.08人)	[概算コスト] 1,434 (内訳) ・決算額 800 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 1,428 (内訳) ・予算額 800 628 (0.08人)	研究会開 催回数 (単位:回)	[目標値] 12 <達成率>	[目標値] 10 <達成率>	[目標値] 12 <達成率>	[目標値] 10 <達成率>	参加事業 者数 (単位:者) <達成率>	[目標値] 15 <達成率>	[目標値] 15 <達成率>	[目標値] 15 <達成率>	[目標値] 15 <達成率>	B	C	統合 (理由) ※外部評価報告書参照	
9	中小企業情報化促進事業	経済局 産業創出課	助成・育成	○事業開始年度 平成13年度 【概要】 ソフトプラザかごしまの情報提供コーナーの運営、情報化セミナー等の 開催により、市内中小企業の情報化の促進を図る。また、ソフト プラザかごしま入居企業をはじめ、市内の情報関連企業に対しソフト 面からの支援策を行うことにより、今後、成長の見込める情報関連 産業の育成を図る。 【対象者】 市内中小企業者等 【具体的な活動内容】 ・ソフトプラザかごしま情報提供コーナーの運営(ビジネス関係図書 の貸出) ・情報化、IT技術者の人材育成セミナー等の開催(24年度:計15回)	市単	[概算コスト] 1,244 (内訳) ・決算額 1,005 ・人件費 239 (0.03人)	[概算コスト] 1,213 (内訳) ・決算額 972 ・人件費 241 (0.03人)	[概算コスト] 1,382 (内訳) ・決算額 1,144 ・人件費 238 (0.03人)	[概算コスト] 1,669 (内訳) ・予算額 1,434 235 (0.03人)	セミナーの 開催回数 (単位:回)	[目標値] 7 <達成率>	[目標値] 7 <達成率>	[目標値] 7 <達成率>	[目標値] 15 <達成率>	中小企業 の情報化 促進に寄 与した。 (単位:件) <達成率>	[目標値] <達成率>	[目標値] <達成率>	[目標値] <達成率>	[目標値] <達成率>	B	C	統合 (理由) ※外部評価報告書参照	
10	商工業振興プラン推進事業	経済局 経済政策課	調査・研究	○事業開始年度 平成23年度 【概要】 平成23年3月に策定した「鹿児島市商工業振興プラン」の着実な推 進を図るため、推進会議を設置・開催する。 【対象者】 商工業を営む中小企業者、市民、行政、経済団体 【具体的な活動内容】 鹿児島市商工業振興プラン推進会議の設置・開催	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 920 (内訳) ・決算額 128 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 913 (内訳) ・予算額 128 785 (0.10人)	推進会議 の開催回 数 (単位:回)	[目標値] 1 <達成率>	[目標値] 1 <達成率>	[目標値] 1 <達成率>	[目標値] 1 <達成率>	商工業振 興プランの 「主な取組 み内容」の うち、事業 取り組みが 実施されて いる数 (単位:件) <達成率>	[目標値] 88 <達成率>	[目標値] 81 <達成率>	[目標値] 88 <達成率>	[目標値] 88 <達成率>	A	A	継続 (理由) 「人が行き交う魅力とにぎわいある るまち」の実現に向けた個別計画 (鹿児島市商工業振興プラン)の進 行管理を行うものであり、必要な事 業である。	
11	地域繁盛店づくり支援事業	経済局 産業支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成23年度 【概要】 実践的なセミナーと店舗での指導を組み合わせた研修会を開催し、 地域商業の中核となる繁盛店を育成することにより、商店街全体の 活性化につなげる。 【対象者】 市内で小売業に携わっている中小事業者 【具体的な活動内容】(23年度実施内容) ・参加店舗数:5店舗 ・研修内容:ディスプレイ、POP、マーケティング戦略等 ・回数:全8回(セミナー4回、臨店指導4回)	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 3,701 (内訳) ・決算額 1,720 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 4,215 (内訳) ・予算額 2,253 1,962 (0.25人)	参加店舗 数(目標値 は定員) (単位:件)	[目標値] 10 <達成率>	[目標値] 5 <達成率>	[目標値] 10 <達成率>	[目標値] 10 <達成率>	地域商業 の中核とな る繁盛店を つくり、地 域商業全 体の活性 化につなげ る取組みを 行うことが できた。 (単位:件) <達成率>	[目標値] <達成率>	[目標値] <達成率>	[目標値] <達成率>	[目標値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 地域商業の中核となる繁盛店をつ くり、その成果を商店街や周辺店舗等 と共有し、他店舗への波及を促すこ とは、地域商業全体の活性化へとつ ながるものであり、必要な事業であ る。	
12	元気の出る中小企業支援事業	経済局 産業支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成7年度 【概要】 商店街や商工業の事業協同組合、中小企業者で組織するグループ が開催する研修会等に講師を派遣する。 ・対象団体は申請に基づき、予算の範囲内で決定する。1団体への 派遣回数は年5回以内とする。 【対象者】 商店街や商工業の事業協同組合、中小企業者で組織するグループ 【具体的な活動内容】 21年度:5団体、5回の研修会に講師派遣、22年度:12団体、21回 の研修会に講師派遣、23年度:9団体、14回の研修会に講師派遣	市単	[概算コスト] 3,314 (内訳) ・決算額 1,323 ・人件費 1,991 (0.25人)	[概算コスト] 4,084 (内訳) ・決算額 2,076 ・人件費 2,008 (0.25人)	[概算コスト] 2,958 (内訳) ・決算額 977 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 3,627 (内訳) ・予算額 1,665 1,962 (0.25人)	講師派遣 回数 (単位:件)	[目標値] 10 <達成率>	[目標値] 5 <達成率>	[目標値] 10 <達成率>	[目標値] 15 <達成率>	本市商工 業の発展 や人材育 成につな がった。 (単位:件) <達成率>	[目標値] 10 <達成率>	[目標値] 21 <達成率>	[目標値] 14 <達成率>	[目標値] 15 <達成率>	[目標値] 14 <達成率>	A	B	見直し (理由) 事業開始から15年以上経過しており、 現在では行政が関与する必要性 が低下していることや中小企業を支 援する他の事業もあることから、それ らの事業に集約するなどの見直しを 検討すべきである。

3-3 地域産業の振興

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度				23年度	24年度
13	中小企業指導団体助成事業	経済局 経済政策課	助成・育成	○事業開始年度 昭和28年度 【概要】鹿児島市中小企業振興条例等に基づき、中小企業者及び事業協同組合等の総合的な向上、改善と育成に努めている指導団体に対し、助成金を交付することにより、団体の行う事業の円滑な運営を促進する。 【対象者】 商工業者 【具体的な活動内容】 鹿児島市中小企業振興条例等により定める指導団体に対し、補助金を交付し、団体の行う事業の円滑な運用を支援する。	市単	[概算コスト] 23,285 (内訳) ・決算額 20,100 ・人件費 3,185 (0.40人)	[概算コスト] 23,312 (内訳) ・決算額 20,100 ・人件費 3,212 (0.40人)	[概算コスト] 23,269 (内訳) ・決算額 20,100 ・人件費 3,169 (0.40人)	[概算コスト] 23,240 (内訳) ・決算額 20,100 ・人件費 3,140 (0.40人)	指導団体数 (単位:団体)	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	団体の運営基盤が強化され、各種事業の充実が図られることにより、加入中小企業者等の振興・発展に寄与している。	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照
14	「鹿児島市の工業」作成事業	経済局 産業支援課	その他	○事業開始年度 昭和49年度 【概要】経済産業省が実施した工業統計の全数調査(西暦の下1桁が0,3,5,8の年に実施)の結果をもとに、本市分を業種別、規模別、地域別等に集計・分析したものを冊子「鹿児島市の工業」として作成し、配布するもの。 【対象者】鹿児島市商工会議所、県工業倶楽部、県中小企業団体中央会、市内の事業協同組合、その他関係機関 【具体的な活動内容】 直近では、経済産業省が平成20年末現在で実施した工業統計調査の結果をもとに「鹿児島市の工業」を400部作成し、配布した。	市単	[概算コスト] 1,196 (内訳) ・決算額 81 ・人件費 1,115 (0.14人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	配布部数 (単位:冊)	[目標値] 400 [実績値] 400 <達成率> 100.0%	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	本市の企業の経営活動や本市の施策への有効活用が図られている。	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	B	見直し (理由) 本市の製造業における生産活動の実態把握のために必要な事業ではあるが、対象者が商工会議所や関係機関などの団体であることから、ホームページに掲載するなどデータの提供のみ行うよう見直すべきである。
15	竹工芸マスター養成講座	経済局 産業支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成元年度 【概要】竹工芸技術の継承と竹工芸に対する市民の理解を深めるため、竹工芸マスター養成講座(初級・中級・上級・再上級)を開催する。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・事業:初級・中級・上級・再上級の4講座の開催 ・費用負担:無料	市単	[概算コスト] 2,283 (内訳) ・決算額 1,168 ・人件費 1,115 (0.14人)	[概算コスト] 2,266 (内訳) ・決算額 1,222 ・人件費 1,044 (0.13人)	[概算コスト] 2,973 (内訳) ・決算額 1,547 ・人件費 1,426 (0.18人)	[概算コスト] 2,646 (内訳) ・決算額 1,547 ・人件費 1,099 (0.14人)	講座数 (単位:講座)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	講座修了者数(初級・中級・上級・再上級合計) (単位:人)	[目標値] 90 [実績値] 61 <達成率> 67.8%	[目標値] 90 [実績値] 74 <達成率> 82.2%	[目標値] 120 [実績値] 89 <達成率> 74.2%	[目標値] 120 [実績値] [実績値] <達成率>	A	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照
16	伝統的工芸産業の振興	経済局 産業支援課	助成・育成	○事業開始年度 昭和一一年度 【概要】市内の伝統的工芸産業(大島紬・竹)業者の作業場を提供し、本場大島紬産業、竹産業の振興・育成を図る。 【対象者】市内の大島紬製造業者・竹工芸品製造業者 【具体的な活動内容】 ・伝統的工芸産業に従事する業者の作業場の提供(大島紬織機センター、大島紬のり張りセンター、竹産業振興センター) ・全国和装産地市町村協議会等への参加	市単	[概算コスト] 6,014 (内訳) ・決算額 4,899 ・人件費 1,115 (0.14人)	[概算コスト] 6,178 (内訳) ・決算額 4,893 ・人件費 1,285 (0.16人)	[概算コスト] 7,486 (内訳) ・決算額 5,901 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 8,082 (内訳) ・決算額 6,120 ・人件費 1,962 (0.25人)	竹産業振興センター利用者・見学者数 (単位:人)	[目標値] 6,000 [実績値] 5,604 <達成率> 93.4%	[目標値] 6,000 [実績値] 5,944 <達成率> 99.1%	[目標値] 6,000 [実績値] 6,090 <達成率> 101.5%	[目標値] 6,000 [実績値] [実績値] <達成率>	伝統的工芸産業の振興	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
17	新規創業者等育成支援事業	経済局 産業創出課	助成・育成	○事業開始年度 平成20年度 【概要】インキュベーション・マネージャーを配置し、経営・販路面のアドバイスなどを行うとともに、イベント、セミナーを開催するなど、新規創業者等を育成支援する。 【対象者】ソーホーかごしま等の入居者、市内新規創業者・中小企業者など 【具体的な活動内容】 ・ソーホーかごしま入居者等に対する経営指導等(通年) ・新規創業者等に対する助言・指導等(通年) ・SOHO支援イベント(年2回)、セミナー等(年3回程度)の開催 ・関係機関と連携した創業支援	国・県補助	[概算コスト] 8,906 (内訳) ・決算額 7,473 ・人件費 1,433 (0.18人)	[概算コスト] 7,862 (内訳) ・決算額 6,417 ・人件費 1,445 (0.18人)	[概算コスト] 8,403 (内訳) ・決算額 6,977 ・人件費 1,426 (0.18人)	[概算コスト] 8,805 (内訳) ・決算額 7,392 ・人件費 1,413 (0.18人)	支援イベント、セミナーの開催回数 (単位:回)	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	支援イベント、セミナーの定員数に占める延べ参加者数 (単位:人)	[目標値] 425 [実績値] 229 <達成率> 53.9%	[目標値] 425 [実績値] 301 <達成率> 70.8%	[目標値] 425 [実績値] 277 <達成率> 65.2%	[目標値] 425 [実績値] [実績値] <達成率>	B	C	統合 (理由) ※外部評価報告書参照
18	ソーホーかごしま管理運営事業	経済局 産業創出課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成17年度 【概要】SOHOを育成・支援するための拠点施設「ソーホーかごしま」の管理・運営を行うことにより、ベンチャービジネスの展開や新規創業を促進し、本市経済の活性化を図る。 【対象者】SOHO事業者 【具体的な活動内容】 SOHO事業者を育成・支援する拠点施設「ソーホーかごしま」の管理・運営を行う。	市単	[概算コスト] 19,653 (内訳) ・決算額 17,503 ・人件費 2,150 (0.27人)	[概算コスト] 19,231 (内訳) ・決算額 17,063 ・人件費 2,168 (0.27人)	[概算コスト] 19,497 (内訳) ・決算額 17,358 ・人件費 2,139 (0.27人)	[概算コスト] 20,882 (内訳) ・決算額 18,763 ・人件費 2,119 (0.27人)	PR回数 (単位:回)	[目標値] 15 [実績値] 15 <達成率> 100.0%	[目標値] 15 [実績値] 19 <達成率> 126.7%	[目標値] 15 [実績値] 15 <達成率> 100.0%	[目標値] 15 [実績値] [実績値] <達成率>	年度別入居者数 (単位:団体)	[目標値] 21 [実績値] 19 <達成率> 90.5%	[目標値] 21 [実績値] 20 <達成率> 95.2%	[目標値] 21 [実績値] 18 <達成率> 85.7%	[目標値] 21 [実績値] [実績値] <達成率>	B	C	統合 (理由) ※外部評価報告書参照

3-3 地域産業の振興

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度			
19	ソフトプラザかごしま管理運営事業	経済局 産業創出課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成13年度 【概要】本市における情報関連企業の育成支援や中小企業の情報化、市外からの情報関連企業の誘致などを促進するための拠点施設として、その管理・運営を行う。 【具体的な活動内容】 ・情報提供コーナーの受付業務等を担う臨時職員の雇用 ・警備、清掃、設備点検、ごみ搬出、その他保守点検等委託業務 ・施設修繕 ・インターネット接続関係 ・光熱水費関係等	市単	[概算コスト] 29,261 (内訳) ・決算額 26,395 ・人件費 2,866 (0.36人)	[概算コスト] 29,258 (内訳) ・決算額 26,367 ・人件費 2,891 (0.36人)	[概算コスト] 29,064 (内訳) ・決算額 26,212 ・人件費 2,852 (0.36人)	[概算コスト] 30,444 (内訳) ・予算額 27,618 ・人件費 2,826 (0.36人)	PR回数 (単位:回) 22 [実績値] 24 <達成率> 109.1%	[目標値] 22 [実績値] 23 <達成率> 104.5%	[目標値] 22 [実績値] 33 <達成率> 150.0%	[目標値] 40	年度別入居者数 (単位:団体) 24 [実績値] 17 <達成率> 70.8%	[目標値] 24 [実績値] 15 <達成率> 62.5%	[目標値] 24 [実績値] 16 <達成率> 66.7%	[目標値] 24	B	C	統合 (理由) ※外部評価報告書参照
20	伝統的工芸産業の活路開拓支援事業	経済局 産業支援課	助成・育成	○事業開始年度 昭和55年度 【概要】大島紬・竹工芸品の活路開拓のためのイベント活動や展示販売会に対する助成を行うとともに、県などと共同で実行委員会を組織して、薩摩焼フェスタを開催することにより、伝統的工芸産業(大島紬・竹工芸・薩摩焼)の振興を図る。 【対象者】本場大島紬織物協同組合、竹工芸振興組合、薩摩焼製造業者等 【具体的な活動内容】 ・本場大島紬織物協同組合が行う活路開拓のためのイベント活動や、竹工芸振興組合が行う竹製品の展示販売会の事業費の一部を助成。 ・「薩摩焼フェスタ」において、新作展や作品展等を開催。	市単	[概算コスト] 9,399 (内訳) ・決算額 8,842 ・人件費 557 (0.07人)	[概算コスト] 10,309 (内訳) ・決算額 8,542 ・人件費 1,767 (0.22人)	[概算コスト] 9,714 (内訳) ・決算額 8,842 ・人件費 872 (0.11人)	[概算コスト] 3,862 (内訳) ・予算額 2,842 ・人件費 1,020 (0.13人)	大島紬フェスティバルの来場者数 (単位:人) 3,500 [実績値] 3,050 <達成率> 87.1%	[目標値] 3,500 [実績値] 2,900 <達成率> 82.9%	[目標値] 3,500 [実績値] 3,000 <達成率> 85.7%	[目標値]	伝統的工芸産業の振興や販路拡大が図られた。 [実績値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	A	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照
21	特産品宣伝事業	経済局 産業支援課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和38年度 【概要】本市の特産品を紹介・宣伝し、販路拡大を図るため、特産品ガイドブックを作成するとともに、福岡市で開催予定の「九州地区観光宣伝隊」において、本市の特産品を紹介・宣伝する。 【対象者】観光客・市民等 【具体的な活動内容】 ・ガイドブック発行部数:30,000部(日本語)、5,000部(外国語版4種類) ・ガイドブック配布先:県内ホテル・業者、市主催イベント、観光案内所、市施設・県外事務所等	市単	[概算コスト] 4,641 (内訳) ・決算額 3,367 ・人件費 1,274 (0.16人)	[概算コスト] 5,256 (内訳) ・決算額 3,489 ・人件費 1,767 (0.22人)	[概算コスト] 11,608 (内訳) ・決算額 6,854 ・人件費 4,754 (0.60人)	[概算コスト] 3,806 (内訳) ・予算額 2,707 ・人件費 1,099 (0.14人)	発行部数 (単位:冊) 40,000 [実績値] 40,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 23,000 [実績値] 23,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 50,000 [実績値] 50,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 20,000	販路の拡大及び市場開拓の促進が図られた。 [実績値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
22	特産品コンクール開催事業	経済局 産業支援課	その他	○事業開始年度 平成2年度 【概要】県などと共同で実行委員会を組織し、県内の製造業者が新たに開発・製造・改良した商品について、コンクールを開催し、入賞商品を県内外で紹介宣伝することにより、特産品のPRと販路拡大を図る。 【対象者】県内製造業者 【具体的な活動内容】 ・新特産品の表彰(入賞商品22点) ・コンクール出品者を対象にしたITセミナー ・商品の展示・販売・PR等	市単	[概算コスト] 1,737 (内訳) ・決算額 1,100 ・人件費 637 (0.08人)	[概算コスト] 1,662 (内訳) ・決算額 1,100 ・人件費 562 (0.07人)	[概算コスト] 1,734 (内訳) ・決算額 1,100 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 1,728 (内訳) ・予算額 1,100 ・人件費 628 (0.08人)	出品業者数 (単位:社) 180 [実績値] 174 <達成率> 96.7%	[目標値] 180 [実績値] 177 <達成率> 98.3%	[目標値] 180 [実績値] 180 <達成率> 100.0%	[目標値] 180	鹿児島市内業者の入賞数 (単位:点) 11 [実績値] 9 <達成率> 81.8%	[目標値] 11 [実績値] 10 <達成率> 90.9%	[目標値] 11 [実績値] 9 <達成率> 81.8%	[目標値] 11	A	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照
23	食肉センター施設設備整備事業	経済局 経済政策課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成15年度 【概要】良質かつ安全・安心な食肉を安定的、効率的に供給できるよう施設設備の維持更新と衛生基準に適合した施設設備の整備を行う。 【対象者】食肉センター利用者 【具体的な活動内容】 良質かつ安全・安心な食肉を安定的、効率的に供給している。	市単	[概算コスト] 28,280 (内訳) ・決算額 21,910 ・人件費 6,370 (0.80人)	[概算コスト] 46,617 (内訳) ・決算額 40,193 ・人件費 6,424 (0.80人)	[概算コスト] 47,739 (内訳) ・決算額 41,401 ・人件費 6,338 (0.80人)	[概算コスト] 73,629 (内訳) ・予算額 67,350 ・人件費 6,279 (0.80人)	稼働日数 (単位:日) 242 [実績値] 248 <達成率> 102.5%	[目標値] 241 [実績値] 248 <達成率> 102.9%	[目標値] 244 [実績値] 250 <達成率> 102.5%	[目標値] 245	処理頭数(小動物) (単位:頭) 1,300 [実績値] 1,192 <達成率> 91.7%	[目標値] 1,300 [実績値] 1,199 <達成率> 92.2%	[目標値] 1,300 [実績値] 1,178 <達成率> 90.6%	[目標値] 1,300	A	A	継続 (理由) 良質で安全・安心な食肉を安定的、効率的に供給するために、今後も施設設備の維持更新を行う必要がある。
24	日本貿易振興機構鹿児島貿易情報センター助成事業	経済局 経済政策課	助成・育成	○事業開始年度 昭和46年度 【概要】日本貿易振興機構鹿児島情報センターが行う、貿易・経済情報の収集・提供、貿易相談事業、輸出促進事業、貿易研修等の事業を促進することによって、本市の貿易及び経済の振興を図るため、同センターに補助金を交付する。 【対象者】日本貿易振興機構鹿児島情報センター 【具体的な活動内容】 同センターが実施する諸事業(相談会・講演会開催など)に要する費用の一部を助成することにより、本市の貿易及び経済振興に寄与する。	市単	[概算コスト] 1,698 (内訳) ・決算額 1,300 ・人件費 398 (0.05人)	[概算コスト] 1,702 (内訳) ・決算額 1,300 ・人件費 402 (0.05人)	[概算コスト] 1,696 (内訳) ・決算額 1,300 ・人件費 396 (0.05人)	[概算コスト] 1,692 (内訳) ・予算額 1,300 ・人件費 392 (0.05人)	講演会・セミナー(市内)等参加者数 (単位:人) 200 [実績値] 126 <達成率> 63.0%	[目標値] 400 [実績値] 329 <達成率> 82.3%	[目標値] 400 [実績値] 333 <達成率> 83.3%	[目標値] 400	本市の貿易振興に寄与している。 [実績値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	A	A	継続 (理由) 本市の貿易振興が図られ、有益な情報や協力等を得ることができることから、必要な事業であるが、貿易額や海外進出企業数など、効果の把握できる指標を設定するよう検討する必要がある。

3-3 地域産業の振興

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度				23年度	24年度
25	若年者等雇用促進助成事業	経済局 雇用推進課	助成・育成	○事業開始年度 平成21年度 【概要】若年者等の雇用機会の拡大及び安定的な雇用の確保を図るため、市内に事業所を有する事業主が、国が実施する試行雇用(トライアル雇用)事業により、本市に住所を有する対象労働者を試行雇用した場合に、事業主に対し補助金を交付する。 【対象者】市内に住所を有する中高年齢者、若年者等、障害者、母子家庭の母等を試行雇用した事業主 【具体的な活動内容】対象労働者一人当たりの交付金額:国の試行雇用奨励金支給決定額の2分の1(一人当たり一回最大6万円)(平成21年4月1日以降にトライアル雇用された者)	市単	[概算コスト] 8,858 (内訳) ・決算額 8,141 ・人件費 717 (0.09人)	[概算コスト] 15,819 (内訳) ・決算額 15,096 ・人件費 723 (0.09人)	[概算コスト] 15,705 (内訳) ・決算額 14,992 ・人件費 713 (0.09人)	[概算コスト] 17,667 (内訳) ・予算額 16,961 ・人件費 706 (0.09人)	トライアル雇用支援金の申請件数 (単位:件)	[目標値] 330 [実績値] 127 達成率 38.5%	[目標値] 257 [実績値] 244 達成率 94.9%	[目標値] 262 [実績値] 242 達成率 92.4%	[目標値] 263 [実績値] 263 達成率 100.0%	申請件数に占める正社員数 (単位:人)	[目標値] 95 [実績値] 83 達成率 87.4%	[目標値] 183 [実績値] 175 達成率 95.6%	[目標値] 182 [実績値] 160 達成率 87.9%	[目標値] 197 [実績値] 197 達成率 100.0%	A	A	継続 (理由) 若年者等の雇用機会の拡大及び安定的な雇用の確保が図られるため、必要な事業である。
26	若年者就職サポート事業	経済局 雇用推進課	その他	○事業開始年度 平成16年度 【概要】若年者の雇用状況の改善を図るため、事業所訪問による雇用枠拡大の要請、キャリア形成ガイドブックの作成、就職希望の市内の高校3年生を対象にしたセミナー等を開催する。 【対象者】学生、就職していない若年者 【具体的な活動内容】 ・雇用枠拡大の要請:市内事業所訪問、経済団体への訪問 ・キャリア形成ガイドブック:10,000部作成、市内の高校等に配付 ・ステップアップセミナー:7月中旬開催、企業側が求める人材や高校生採用のポイント等に関する研修、面接試験への対応などの研修、先輩体験談	市単	[概算コスト] 1,843 (内訳) ・決算額 489 ・人件費 1,354 (0.17人)	[概算コスト] 2,004 (内訳) ・決算額 639 ・人件費 1,365 (0.17人)	[概算コスト] 1,782 (内訳) ・決算額 435 ・人件費 1,347 (0.17人)	[概算コスト] 1,931 (内訳) ・予算額 597 ・人件費 1,334 (0.17人)	高校生ステップアップセミナー参加者数 (単位:人)	[目標値] 840 [実績値] 692 達成率 82.4%	[目標値] 840 [実績値] 853 達成率 101.5%	[目標値] 840 [実績値] 814 達成率 96.9%	[目標値] 840 [実績値] 840 達成率 100.0%	高校生ステップアップセミナー満足度 (単位:%)	[目標値] 90 [実績値] 94.0 達成率 104.4%	[目標値] 90 [実績値] 94.7 達成率 105.2%	[目標値] 90 [実績値] 95.7 達成率 106.3%	[目標値] 90 [実績値] 90 達成率 100.0%	A	A	継続 (理由) 若年者の雇用確保を図るため、必要な事業である。
27	障害者等雇用促進事業	経済局 雇用推進課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和59年度 【概要】障害者等の雇用の促進と職業の安定を図るため、障害者雇用優良事業所や障害者優良従業員を表彰する。また、障害者の社会参加促進のため、障害者雇用ガイドを作成し配布する。 【具体的な活動内容】 障害者雇用優良事業所及び障害者優良従業員表彰式 ・開催時期 9月 ・開催回数 1回 障害者雇用ガイド ・発行部数 7,500部	市単	[概算コスト] 912 (内訳) ・決算額 434 ・人件費 478 (0.06人)	[概算コスト] 867 (内訳) ・決算額 385 ・人件費 482 (0.06人)	[概算コスト] 835 (内訳) ・決算額 360 ・人件費 475 (0.06人)	[概算コスト] 947 (内訳) ・予算額 476 ・人件費 471 (0.06人)	障害者雇用優良事業所の被表彰事業所数 (単位:事業所数)	[目標値] 5 [実績値] 2 達成率 40.0%	[目標値] 5 [実績値] 3 達成率 60.0%	[目標値] 5 [実績値] 1 達成率 20.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 達成率 100.0%	民間企業の障害者雇用率 (単位:%)	[目標値] 1.80 [実績値] 1.86 達成率 103.3%	[目標値] 1.80 [実績値] 1.93 達成率 107.2%	[目標値] 1.80 [実績値] 1.84 達成率 102.2%	[目標値] 1.80 [実績値] 1.80 達成率 100.0%	D	F	廃止 (理由) ※外部評価報告書参照
28	高齢者就業機会確保等事業	経済局 雇用推進課	助成・育成	○事業開始年度 昭和56年度 【概要】シルバー人材センターの運営に要する事業費の一部を補助し、当センターを育成することにより、高齢者の労働能力を活用した生きがいの充実等を推進し、雇用機会の確保を図る。 【対象者】(公社)鹿児島市シルバー人材センター 【具体的な活動内容】 補助の内訳 ・本部活動拠点運営費補助 ・企画提案方式事業補助 ・理事長報酬等補助 ・管理運営費に対する補助	市単	[概算コスト] 45,506 (内訳) ・決算額 44,789 ・人件費 717 (0.09人)	[概算コスト] 45,386 (内訳) ・決算額 44,663 ・人件費 723 (0.09人)	[概算コスト] 42,684 (内訳) ・決算額 41,971 ・人件費 713 (0.09人)	[概算コスト] 43,245 (内訳) ・予算額 42,539 ・人件費 706 (0.09人)	シルバー会員数 (単位:人)	[目標値] 2,600 [実績値] 2,424 達成率 93.2%	[目標値] 2,600 [実績値] 2,342 達成率 90.1%	[目標値] 2,600 [実績値] 2,439 達成率 93.8%	[目標値] 2,600 [実績値] 2,600 達成率 100.0%	契約金額 (単位:千円)	[目標値] 806,250 [実績値] 751,025 達成率 93.2%	[目標値] 745,750 [実績値] 770,882 達成率 103.4%	[目標値] 745,750 [実績値] 764,604 達成率 102.5%	[目標値] 769,050 [実績値] 769,050 達成率 100.0%	A	A	継続 (理由) シルバー人材センターの円滑な運営が図られ、これが高齢者の就業機会の拡大及びいきがい対策につながることから、必要な事業である。
29	就職困難者等雇用促進助成事業	経済局 雇用推進課	助成・育成	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】市内在住の就職困難者等を、継続して雇用する労働者として雇い入れた市内の中小企業の事業主に対して奨励金を交付することにより、雇用機会の増大及び雇用の定着を図る。 【対象者】市内の中小企業事業主 【具体的な活動内容】 ○補助金額 ・重度障害者等、精神障害者 1人月額6,000円を12か月間 ・その他の障害者 1人月額3,000円を12か月間 ・その他(高齢者、母子家庭の母等) 1人月額3,000円を6か月間	市単	[概算コスト] 3,185 (内訳) ・決算額 2,787 ・人件費 398 (0.05人)	[概算コスト] 3,822 (内訳) ・決算額 3,420 ・人件費 402 (0.05人)	[概算コスト] 4,104 (内訳) ・決算額 3,708 ・人件費 396 (0.05人)	[概算コスト] 3,995 (内訳) ・予算額 3,603 ・人件費 392 (0.05人)	雇用奨励金交付対象人数 (単位:人)	[目標値] 131 [実績値] 122 達成率 93.1%	[目標値] 140 [実績値] 152 達成率 108.6%	[目標値] 150 [実績値] 170 達成率 113.3%	[目標値] 162 [実績値] 162 達成率 100.0%	民間企業の障害者雇用率 (単位:%)	[目標値] 1.80 [実績値] 1.86 達成率 103.3%	[目標値] 1.80 [実績値] 1.93 達成率 107.2%	[目標値] 1.80 [実績値] 1.84 達成率 102.2%	[目標値] 1.80 [実績値] 1.80 達成率 100.0%	A	A	継続 (理由) 障害者や高齢者等の就職困難者の雇用機会の拡大及び定着を図るためには必要な事業である。
30	団塊世代の就労促進事業	経済局 雇用推進課	助成・育成	○事業開始年度 平成18年度 【概要】団塊世代の持つ知識・経験や技能・技術を就労分野において積極的に活用促進する。 【対象者】団塊世代を含む高齢者 【具体的な活動内容】 ・就労促進ガイドブックの発行 ・シルバー人材センター事業費の補助 ・団塊世代の就労相談窓口の設置 ・高齢者無料職業紹介窓口の開設 ・団塊世代のITスキルアップ講座の開催	市単	[概算コスト] 5,653 (内訳) ・決算額 4,698 ・人件費 955 (0.12人)	[概算コスト] 5,395 (内訳) ・決算額 4,431 ・人件費 964 (0.12人)	[概算コスト] 5,336 (内訳) ・決算額 4,385 ・人件費 951 (0.12人)	[概算コスト] 5,506 (内訳) ・予算額 4,564 ・人件費 942 (0.12人)	ITスキルアップ講座の参加者数 (単位:人)	[目標値] 20 [実績値] 20 達成率 100.0%	ITスキルアップ講座の満足度 (単位:%)	[目標値] 90 [実績値] 93.7 達成率 104.1%	[目標値] 90 [実績値] 98.3 達成率 109.2%	[目標値] 90 [実績値] 94.7 達成率 105.2%	[目標値] 90 [実績値] 90 達成率 100.0%	A	A	継続 (理由) 団塊世代などの求職活動や再就職を支援し、新たな就業機会の確保等の一助となることから必要な事業であるが、団塊世代が65歳になる時期に合わせて事業の終期を設定する必要がある。			

3-3 地域産業の振興

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度			
31	労働関係相談及び雇用促進事業	経済局 雇用推進課	相談	○事業開始年度 昭和47年度 【概要】雇用に関する諸々の相談を気軽に受けられる場を提供するとともに、雇用労働問題に関し関係団体等との情報交換を通じて相互理解と連携を深める。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・雇用相談 相談員 1名 相談時間等 9:00~15:45(月曜日から金曜日まで) ・雇用労働会議 開催回数 2回	市単	[概算コスト] 2,749 (内訳) ・決算額 2,112 ・人件費 637 (0.08人)	[概算コスト] 3,201 (内訳) ・決算額 2,559 ・人件費 642 (0.08人)	[概算コスト] 3,129 (内訳) ・決算額 2,495 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 3,149 (内訳) ・予算額 2,521 ・人件費 628 (0.08人)	相談件数 (単位:件) [目標値] 451 [実績値] 392 <達成率> 86.9%	[目標値] 451 [実績値] 323 <達成率> 71.6%	[目標値] 451 [実績値] 279 <達成率> 61.9%	[目標値] 451 [実績値] 279 <達成率> 61.9%	雇用の促進が図られた。 [目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	B	見直し (理由) 相談件数が1日1件程度となっていることから、他の相談員との兼務などを含め、事業の見直しを検討すべきである。
32	労政広報紙発行等事業	経済局 雇用推進課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和51年度 【概要】雇用対策、労働福祉等の施策の理解を深めてもらうために中小企業のひろば等を発行する。また、市内事業所に就職する新規学卒者の定着を図るため、市新就職者激励大会を開催する。 【対象者】市内の中小企業事業所等 【具体的な活動内容】 ・労政広報紙 発行部数:中小企業のひろば 28,000部、労政のしおり 3,000部 発行回数:中小企業のひろば 年4回、労政のしおり 年1回 ・新就職者激励大会 開催回数:年1回、開催時期:3月	市単	[概算コスト] 6,830 (内訳) ・決算額 4,203 ・人件費 2,627 (0.33人)	[概算コスト] 6,290 (内訳) ・決算額 3,640 ・人件費 2,650 (0.33人)	[概算コスト] 6,180 (内訳) ・決算額 3,565 ・人件費 2,615 (0.33人)	[概算コスト] 6,237 (内訳) ・予算額 3,647 ・人件費 2,590 (0.33人)	中小企業のひろば及び労政のしおりの延べ発行部数 (単位:冊) [目標値] 34,000 [実績値] 33,500 <達成率> 98.5%	[目標値] 32,000 [実績値] 31,500 <達成率> 98.4%	[目標値] 30,000 [実績値] 29,500 <達成率> 98.3%	[目標値] 28,000 [実績値] 29,500 <達成率> 105.4%	雇用対策、労働福祉等の施策に関する情報の周知 [目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 雇用対策等に関する情報の提供は、市内事業所の雇用環境の整備、勤労者福祉の向上等が図られるため、必要な事業である。
33	技能功労者表彰	経済局 雇用推進課	その他	○事業開始年度 昭和46年度 【概要】技能尊重の気運を広く社会一般に醸成するとともに、技能者の地位及び技能水準の向上を図るため、優れた技能を有し、本市の産業発展に尽力した技能者の功労をたたえ表彰する。 【対象者】勤労者 【具体的な活動内容】 ・開催時期:11月 ・場所:市内ホテル ・開催回数:1回	市単	[概算コスト] 3,500 (内訳) ・決算額 2,624 ・人件費 876 (0.11人)	[概算コスト] 3,325 (内訳) ・決算額 2,442 ・人件費 883 (0.11人)	[概算コスト] 3,402 (内訳) ・決算額 2,530 ・人件費 872 (0.11人)	[概算コスト] 3,751 (内訳) ・予算額 2,888 ・人件費 863 (0.11人)	技能功労者表彰式の開催回数 (単位:回) [目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	技能功労者表彰の被表彰者数 (単位:人) [目標値] 50 [実績値] 51 <達成率> 102.0%	[目標値] 50 [実績値] 44 <達成率> 88.0%	[目標値] 50 [実績値] 49 <達成率> 98.0%	[目標値] 50 [実績値] 49 <達成率> 98.0%	B	B	見直し (理由) 技能尊重の気運を醸成するとともに、技能者の地位及び技能水準の向上を図るために必要な事業であるが、コスト削減の面から見直しを検討すべきである。
34	技能労働者奨励事業	経済局 雇用推進課	助成・育成	○事業開始年度 昭和59年度 【概要】働きながら職業訓練に励み、学科、実技ともに優秀な成績を修め日常生活態度が他の模範となる訓練生を表彰すると共に、技能五輪全国大会及び一級技能士全国大会(技能グランプリ)に参加する、市内に居住する技能労働者に対して激励金を贈呈する。 【対象者】市内に居住する技能労働者 【具体的な活動内容】 ・訓練生の表彰 実施時期:3月 ・激励金の贈呈 奨励金:1人10,000円 贈呈時期:11月、3月	市単	[概算コスト] 90 (内訳) ・決算額 10 ・人件費 80 (0.01人)	[概算コスト] 115 (内訳) ・決算額 35 ・人件費 80 (0.01人)	[概算コスト] 94 (内訳) ・決算額 15 ・人件費 79 (0.01人)	[概算コスト] 144 (内訳) ・予算額 66 ・人件費 78 (0.01人)	優良訓練修了生の表彰者数 (単位:人) [目標値] 10 [実績値] 7 <達成率> 70.0%	[目標値] 10 [実績値] 5 <達成率> 50.0%	[目標値] 10 [実績値] 6 <達成率> 60.0%	[目標値] 10 [実績値] 6 <達成率> 60.0%	技能習得の意欲の増進、技術水準の向上と若年労働者の育成 [目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 訓練生を表彰することは、技能労働者の技能習得の意欲の増進、技能水準の向上と若年労働者の育成が図られ、必要な事業である。
35	職業訓練施設管理事業	経済局 雇用推進課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成元年度 【概要】独自で従業員の職業訓練を行うことが困難な中小企業が、共同して職業訓練を行うために設置された職業訓練施設の管理運営を行う。当施設では、指定管理者である職業訓練法人鹿児島市職業訓練協会が、認定職業能力開発校である「鹿児島高等技術専門学校」を設置し、同協会会員事業所の従業員を対象とした職業訓練を実施している。 【対象者】 指定管理者:職業訓練法人鹿児島市職業訓練協会 【具体的な活動内容】 鹿児島市職業訓練センターの管理運営に要する経費の支出	市単	[概算コスト] 2,360 (内訳) ・決算額 2,042 ・人件費 318 (0.04人)	[概算コスト] 2,305 (内訳) ・決算額 1,984 ・人件費 321 (0.04人)	[概算コスト] 2,289 (内訳) ・決算額 1,972 ・人件費 317 (0.04人)	[概算コスト] 2,324 (内訳) ・予算額 2,010 ・人件費 314 (0.04人)	訓練が行われた訓練科数 (単位:科) [目標値] 8 [実績値] 7 <達成率> 87.5%	[目標値] 8 [実績値] 7 <達成率> 87.5%	[目標値] 8 [実績値] 7 <達成率> 87.5%	[目標値] 8 [実績値] 7 <達成率> 87.5%	訓練生数(年度当初) (単位:人) [目標値] 90 [実績値] 34 <達成率> 37.8%	[目標値] 90 [実績値] 34 <達成率> 37.8%	[目標値] 90 [実績値] 29 <達成率> 32.2%	[目標値] 90 [実績値] 29 <達成率> 32.2%	A	A	継続 (理由) 独自で従業員の職業訓練を行うことが困難な中小企業が、共同して職業訓練を行うため、必要な事業である。
36	労働関係団体補助事業	経済局 雇用推進課	助成・育成	○事業開始年度 昭和49年度 【概要】労働関係団体が実施する事業に対し、その費用の一部を補助することにより、職業能力の開発等を促進する。 【対象者】労働関係団体 【具体的な活動内容】 ・鹿児島市集団求人雇用対策協会補助金 180千円 ・鹿児島市認定職業能力開発連絡協議会補助金 900千円 ・労働文化祭補助金 200千円 ・市認定職業能力開発校特例運営費補助金 480千円	市単	[概算コスト] 1,360 (内訳) ・決算額 1,280 ・人件費 80 (0.01人)	[概算コスト] 1,360 (内訳) ・決算額 1,280 ・人件費 80 (0.01人)	[概算コスト] 1,359 (内訳) ・決算額 1,280 ・人件費 79 (0.01人)	[概算コスト] 1,838 (内訳) ・予算額 1,760 ・人件費 78 (0.01人)	補助を行った労働関係団体数 (単位:団体) [目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	技能体験教室の参加者数(鹿児島市認定職業能力開発協議会事業) (単位:人) [目標値] 120 [実績値] 140 <達成率> 116.7%	[目標値] 120 [実績値] 114 <達成率> 95.0%	[目標値] 120 [実績値] 118 <達成率> 98.3%	[目標値] 120 [実績値] 118 <達成率> 98.3%	A	A	継続 (理由) 技能労働者の人材育成や労働環境の整備などを行う労働団体の活動を支援するため、必要な事業である。

3-3 地域産業の振興

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度				23年度	24年度
37	IT人材育成事業	経済局 雇用推進課	助成・育成	○事業開始年度 平成22年度 【概要】就職が決まらないまま卒業された新卒未就職者をはじめとする若年者を対象に、座学研修や職場実習を通じて、情報・通信分野における人材の育成を図る。 【具体的な活動内容】 一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会に委託して実施する。研修等を実施する再委託先企業の選定や合同研修を実施する。再委託先企業は、若年者を新規雇用した上で、職場研修等を行う。	国・県補助	[概算コスト] 0	[概算コスト] 45,903	[概算コスト] 45,784	[概算コスト] 46,256	研修生の人数 (単位:人)	[目標値] 20	[目標値] 20	[目標値] 20	[目標値] 20	研修後の就職人数 (単位:人)	[目標値] 20	[目標値] 20	[目標値] 20	[目標値] 20	G	G	終了 (理由) 研修後約9割が正規雇用されるなど、緊急雇用創出事業の目的を達成したことから、県の基金が活用できる24年度までで終了する。
38	中小企業勤労者総合福祉推進事業	経済局 雇用推進課	助成・育成	○事業開始年度 平成5年度 【概要】本市の中小企業勤労者に総合的な福利厚生事業を提供する(財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターに対し、補助を行うことにより、中小企業勤労者の福祉の向上を図る。 【対象者】(財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンター 【具体的な活動内容】 ・補助金額 13,615千円 (内訳)管理運営費 9,000千円 健康関連事業費 815千円 など	市単	[概算コスト] 14,013	[概算コスト] 14,017	[概算コスト] 14,011	[概算コスト] 14,007	(財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターの会員数 (単位:人)	[目標値] 15,321	[目標値] 15,675	[目標値] 16,029	[目標値] 16,383	加入中小企業の勤労者の福祉の向上が図られた。	[目標値] 16,126	[目標値] 16,745	[目標値] 17,505	[目標値] 17,869	A	A	継続 (理由) 中小企業勤労者の福祉の向上を図るために、福利厚生事業を提供するセンターへの助成は必要である。
39	勤労者交流センター管理運営事業	経済局 雇用推進課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成12年度 【概要】勤労者の余暇活動の充実と相互の交流を促進するために設置された勤労者交流センターの効果的な管理運営を行う。 【対象者】指定管理者:(財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンター 【具体的な活動内容】 ・鹿児島市勤労者交流センターの管理運営に要する経費の支出	市単	[概算コスト] 75,956	[概算コスト] 73,825	[概算コスト] 70,406	[概算コスト] 70,362	開館日数 (単位:日)	[目標値] 359	[目標値] 359	[目標値] 359	[目標値] 359	施設利用者数 (単位:人)	[目標値] 250,000	[目標値] 250,000	[目標値] 250,000	[目標値] 250,000	A	A	継続 (理由) 勤労者の余暇活動の充実と相互の交流を促進するため、必要な事業である。
40	中小企業退職金共済掛金補助事業	経済局 雇用推進課	助成・育成	○事業開始年度 昭和52年度 【概要】市内中小企業退職金共済制度及び特定退職者共済制度への加入促進を図るため、これら両制度に新規に従業員を加入させた事業主に対し補助金を交付する。 【対象者】共済に新規加入後、掛金を12月納付した市内事業所 【具体的な活動内容】 ・補助金交付算定基準:掛金月額×12月×20/100 ・補助限度額:被共済契約者(従業員)1人につき、12,000円	市単	[概算コスト] 5,932	[概算コスト] 7,575	[概算コスト] 7,256	[概算コスト] 8,323	中小企業退職金共済掛金補助金を交付した事業所数 (単位:事業所)	[目標値] 76	[目標値] 71	[目標値] 75	[目標値] 63	中小企業退職金共済掛金補助金の対象者数 (単位:人)	[目標値] 361	[目標値] 368	[目標値] 422	[目標値] 521	A	A	継続 (理由) 独自で退職金制度を持っていない事業所の勤労者にとって退職金を保証する共済制度への加入を促進するものであり、必要な事業である。